

2・23

34th

サタデープログラムニュース

第2部 講座番号 32 番 11:50~13:20

火曜サプライズ、マネーの虎演出家の 人の心をひっかくクリエイティブの作り方

講師 山谷和隆さん（演出家）



1965 年生まれ。大学三年生の時に始めたテレビ制作会社のバイト中、テリー伊藤さんに誘われて AD として入社。その後ディレクターやフリーディレクターを経験しテレビの演出家に。『火曜サプライズ』、『鉄腕ダッシュ』、『マネーの虎』などのヒット番組を手掛ける。現在は火曜サプライズに監修者として参加する傍ら、株式会社 SACKA を立ち上げて番組、映画、CM など幅広い企画の立案と、放送作家・クリエイターの育成をしている。

とってもシビア！テレビの企画立ち上げの実態

皆さんにとって、テレビの番組から得ている情報はとても多いと思います。昔から見ていたようななじみ深い番組もたくさんありますよね。それらは現場にいる多数の製作スタッフの苦勞と努力によってできています。そして、番組の内容を考える人たちの存在も忘れてはいけません。

各テレビ局内にある会議室では、番組の企画や構成に関する話し合いがされています。具体的には、放送作家による番組企画のプレゼンや制作チームによる放送内容の詰めなどがあります。今回話をうかがった山谷さんはディレクター時代から、ロケ現場の仕事や編集作業だけではなく、こうした会議に参加して企画を出したりしていました。しかし、たくさんの作家が何百～何千もの押し企画を持ち込んでも、放送が決まるのは一つか二つ。そんなシビアな環境で身についたのが、人の心をひっかくクリエイティブの作り方です。

テレビに求められているもの、それは…

山谷さんが考えた番組の企画の一つに、火曜サプライズのアポなし旅があります。10年以上ゴールデンで放送されている人気番組です。そのヒットの理由は、タレントの素の部分が見えるという新しい切り口がウケたから。

視聴者は「今までにないもの」、「異質なもの」を求めると山谷さんは言います。山谷さんが担当した番組は他に、毎週「TOKIOvs〇〇」と称し TOKIO と山手線や渋滞した道路など様々なものを戦わせる(正月のウルトラマン DASH の原型)、当時にしてはとても実験的でイカレた番組「鉄腕！ダッシュ！」。そして、融資の相談をバラエティ番組化し劇画チックに演出した「マネーの虎」。これらにも先に挙げた傾向が当てはまりますが、皆さんも一度見てみたいとは思いませんか？

一方現代では、人々のテレビ離れが大きな問題になっています。原因として、発達したマーケティング技術によって視聴者層が絞られたり、コンプライアンスの問題で内容が制限されたり、作業の合理化が進み作り手の熱量が減っていることがあげられます。よってテレビの内容が均一化し、視聴者が求めるものを作れなくなっているのです。新たな需要を生み出し、テレビ業界の将来を明るくするためにも今こそ、テレビの製作陣には新しいコンテンツをクリエイティブに生み出す力が必要とされています。

現在の活動

53 歳になった今山谷さんが心がけているのは、新しいものに挑戦すること。SACKA という会社で手掛けているのはテレビだけではなく映画やゲーム、舞台に宣伝広告など多種多様なコンテンツ。チャレンジを志してから、宝塚や Amazon などから自然にオファーが来るようになったと言います。そして、大学生から中高年まで幅広い層に対応した、「売れるコンテンツ」を生み出す方法を教えるセミナーも開講中。また、経営学を学び MBA の資格を取得しようと思いつき、大学院への受験勉強に忙しい日々を過ごしています。

売れるコンテンツの生み出し方

皆さんは、『俳優の山田孝之が赤羽で一般人として生活するフェイクドキュメンタリー番組』『利用者の体調をアプリで管理し、その日にあったサプリメントを提供する自販機』『24 時間定点カメラで特定の場所を映し続けるスマホの待受け画面』などと聞いたとき、どう思うでしょうか。

「気になる、見てみたい！」、「なにそれ、欲しい！」とは思いませんか？こんな風に人の心を引き付けるコンテンツを生み出すには、実は秘訣があるのです…。

当日は…

講座では、一般には知られていないテレビ業界の裏事情やその職務内容に加え、人の心を引き付ける発想法について語っていただきます。自身が担当した番組などの豊富な例を踏まえた、面白くて勉強になる内容です。テレビ業界に興味がある方やプロのクリエイティブな思考法を身につけたい方はぜひ！当日の参加をお待ちしております。

担当 高校 1D 森田翔伍